

令和4年6月28日

川俣町教育委員会

教育長 佐久間裕晴 様

(仮称) かわまた認定こども園開設準備協議会

会 長 大内宏典

(仮称) かわまた認定こども園開設準備協議会協議・検討結果
報告書の提出について

本協議会は令和2年6月30日に設置されて以降、令和4年6月9日まで
7回にわたり協議・検討を進めてまいりました。

このたび、報告書がまとまりましたので、別紙のとおり報告いたします。

(仮称) かわまた認定こども園開設準備協議会 協議・検討結果報告書

令和5年4月のこども園開設に伴い、(仮称) かわまた認定こども園開設準備協議会は、令和2年6月30日から令和4年6月9日までの7回にわたり会議を開催し、施設整備等に関する事などについて協議・検討を行い、その結果を下記のとおり取りまとめましたので報告いたします。

記

町では少子化が急速に進行し、幼児、児童生徒数も減少傾向が続いている。このような中、子どもたちが学び、成長するには、どのような教育環境の整備が必要かを検討するため「川俣町幼稚園、小・中学校のあり方検討委員会」が組織され、平成31年2月提言書がまとめられた。

この提言書を受け、町は小学校の再編計画、認定こども園の開設計画を策定し整備が進められ、令和4年4月には小学校の再編を行い、町内5つの小学校は川俣小学校1校に再編された。

一方、学校並びに児童福祉施設の両方の性格を併せ持つ施設として、町内の幼稚園、保育園を一体化した「幼保連携型認定こども園」は令和5年4月開設に向け、「旧川俣南小学校」の校舎を活用するため、現在改修工事が進められている。

また、公私連携幼保連携型認定こども園の運営は、運営事業者選定の結果、「社会福祉法人 川俣町社会福祉協議会」が選定され、令和4年4月1日町と協定を締結したところである。なお、施設の改修工事は町で施工し、完成後は川俣町社会福祉協議会に無償貸与することが決定されている。

開設準備協議会では、施設整備等に関することを中心に協議し、0歳から5歳児までの幼児が、一つの施設に通園することにより、幼児教育と保育の充実が図られるよう環境整備を中心に検討が行われ、施設整備を中心に意見を反映するとともに、施設の名称については「かわまた認定こども園」とする方向性が示されたところである。

最後に、施設の運営については、公私連携のもと川俣町と運営事業者である川俣町社会福祉協議会とが十分に協議を重ね、給食の実施や子育て支援センター機能の充実など、園児、保護者の利便性を十分に配慮し、川俣の教育シルクプランに基づく幼保、小・中学校のつながる教育を具現化した認定こども園の運営を望むものである。